平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名　セブンシーズホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3750　URL　http://www.sshd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤堂 裕隆
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長　(氏名) 関　裕司　TEL 03-5225-3611

四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,254	39.9	△8	―	△88	―	△146	―
23年3月期第3四半期	1,611	△85.3	△118	―	△159	―	452	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　△153百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　495百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△3.05	―
23年3月期第3四半期	9.41	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	2,953	1,230	41.7	25.55
23年3月期	3,718	1,496	39.5	30.51

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　1,230百万円　23年3月期　1,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	18.3	0	―	△90	―	△130	―	△2.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	62,994,620 株	23年3月期	62,994,620 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	14,845,495 株	23年3月期	14,845,495 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	48,149,125 株	23年3月期3Q	48,149,127 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 2
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
第３四半期連結会計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 9
第３四半期連結会計期間 …… 10
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（４）セグメント情報等 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
（６）重要な後発事象 …… 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災による影響から一部回復の兆しも見られる一方、欧州の債務危機への不安が未だ払拭されず、円高の長期化や雇用情勢も厳しい状態であるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、各事業において事業基盤の整備・拡充、ならびに各事業領域における競争力強化・収益性向上に鋭意取り組み、より付加価値の高いコンテンツ、サービス、ソリューションの創出とお客様へのご提供を積極的に図ってまいりました。この結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間における連結売上高は2,254百万円（前年同四半期比39.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔メディア&マーケティング事業〕

市場調査業務は、東日本大震災の影響もあり、海外からの受注が伸び悩む一方で、国内案件は計画どおり推移いたしました。一方で、出版関連におきましては、委託の取り扱いを増加し、広告収入に関しては見込を上回ったことにより、売上高は1,224百万円（前年同四半期比85.6%増）となりました。

〔カードソリューション事業〕

モバイルカード決済端末サービスは順調に推移した結果、売上高は639百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

〔データセンター事業〕

データセンター事業については、売上高は389百万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。

損益面につきましては、営業損失は８百万円（前年同四半期は営業損失118百万円）となり、急激な円高による為替差損45百万円の計上等により経常損失は88百万円（前年同四半期は経常損失159百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、2,953百万円（前連結会計年度末比20.6%減、765百万円減）となりました。これは主に投資有価証券及び賃貸資産の減少によるものです。

負債は、1,722百万円（前連結会計年度末比22.5%減、500百万円減）となりました。これは主に短期借入金の減少によるものです。

純資産は、1,230百万円（前連結会計年度末比17.8%減、265百万円減）となりました。これは主に利益剰余金が減少したことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

持分法適用の範囲の重要な変更

第１四半期連結会計期間において、当社が保有するセブンシーズ・テックワークス㈱の株式の一部を譲渡したため、同社及び同社子会社の㈱ピーアール・ライフは当社の持分法適用会社ではなくなっております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成20年３月期から平成23年３月期まで継続して営業損失を計上しており、当第３四半期連結

累計期間においても営業損失８百万円を計上していることから、継続企業の前提に関する重要事象が存在しております。

当該重要事象等を解消すべく、以下のとおり対応しております。

①メディア&マーケティング事業

メディア（出版）事業においては、景況感悪化による影響が損益に直結する広告売上に依存しない実売型の雑誌及びムックの委託や出版に係るノウハウ、取引口座等を活用した編集受託、企業向けの各種販促ツール受託等を進め、収益の多角化および改善を目指してまいります。

また、不採算雑誌媒体の休刊、媒体の見直し、外注費をはじめとする原価削減等を行っております。

市場調査事業におきましては、円高の長期化に加え、東日本大震災の影響もあり、海外顧客からの受注が鈍っておりますが、国内顧客の開拓を進める上で、海外進出を視野に入れた国内企業の調査案件に対する営業を強化し、安定的な収益の確保を目指してまいります。

②カードソリューション事業

当事業においては、平成23年３月期第１四半期連結累計期間より黒字化を実現しており、引き続き通信規格変更に伴う端末変更に係る契約料および取扱高も堅調に推移しております。更なる収益向上に向け、新規顧客の獲得を行ってまいります。

③データセンター事業

当事業においては、平成22年３月期第１四半期連結累計期間より営業利益を計上しており、安定的な収益を上げております。

④経費削減

経費全般について全面的な見直しを行い、固定費の圧縮を実施しております。

各事業における上記の施策を講じることにより、収益の改善を図っていくことに加え、当社グループ内での役割、責任、権限の明確化による組織的な機動力強化、人員配置の適正化、各社におけるプロジェクト案件ごとの損益管理体制の再構築を実現してまいります。

また、新規で外部からの資金調達及び資産処分による有利子負債の圧縮等により財務の改善もあわせて実現してまいります。

従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しておりますので、四半期連結財務諸表において、継続企業の前提に関する注記は記載しておりません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	630,207	307,315
受取手形及び売掛金	911,988	1,027,650
たな卸資産	18,943	73,967
未収入金	188,419	147,521
返品債権特別勘定引当金	△67,171	△87,719
その他	107,681	97,904
貸倒引当金	△45,852	△32,371
流動資産合計	1,744,216	1,534,270
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	538,770	508,044
工具、器具及び備品（純額）	169,391	282,003
建設仮勘定	39,000	59,400
その他（純額）	112	2,576
有形固定資産合計	747,274	852,024
無形固定資産		
のれん	551,605	454,725
その他	12,268	13,108
無形固定資産合計	563,873	467,833
投資その他の資産		
投資有価証券	337,185	32,623
賃貸資産（純額）	270,141	－
破産更生債権等	382,775	382,775
その他	126,015	130,520
貸倒引当金	△452,522	△446,856
投資その他の資産合計	663,595	99,063
固定資産合計	1,974,743	1,418,922
資産合計	3,718,960	2,953,192

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	298,571	409,217
短期借入金	388,500	130,199
１年内返済予定の長期借入金	291,553	146,232
未払費用	419,230	396,037
返品調整引当金	12,200	21,100
その他	115,009	82,786
流動負債合計	1,525,065	1,185,573
固定負債		
長期借入金	472,807	515,407
退職給付引当金	8,017	8,887
その他	217,017	13,018
固定負債合計	697,842	537,314
負債合計	2,222,907	1,722,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461,832	3,461,832
資本剰余金	1,058,924	1,058,924
利益剰余金	△224,068	△456,695
自己株式	△2,868,444	△2,868,444
株主資本合計	1,428,243	1,195,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	△15,420
為替換算調整勘定	40,870	50,108
その他の包括利益累計額合計	40,870	34,688
新株予約権	26,938	－
純資産合計	1,496,053	1,230,304
負債純資産合計	3,718,960	2,953,192

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	1,611,617	2,254,182
売上原価	998,797	1,503,337
売上総利益	612,820	750,844
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	255,082	239,099
返品債権特別勘定引当金繰入額	－	20,547
その他	476,690	499,776
販売費及び一般管理費合計	731,773	759,423
営業損失（△）	△118,953	△8,578
営業外収益		
受取利息	2,963	2,506
受取賃貸料	62,889	3,824
貸倒引当金戻入額	－	5,758
その他	185,842	9,441
営業外収益合計	251,695	21,530
営業外費用		
支払利息	74,814	42,400
賃貸費用	53,571	4,217
為替差損	127,007	45,993
持分法による投資損失	35,069	7,260
その他	1,494	1,597
営業外費用合計	291,957	101,468
経常損失（△）	△159,214	△88,516
特別利益		
固定資産売却益	3,760	29
関係会社株式売却益	612,291	－
新株予約権戻入益	830	30,787
貸倒引当金戻入額	163	－
返品債権特別勘定引当金戻入額	3,820	－
受取設備負担金	－	61,931
その他	13,023	－
特別利益合計	633,888	92,748

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
特別損失		
固定資産売却損	－	7,427
固定資産除却損	7,088	－
関係会社株式売却損	－	62,623
投資有価証券評価損	1,298	－
減損損失	4,945	63,867
和解金	－	10,426
その他	5,329	－
特別損失合計	18,662	144,345
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	456,011	△140,113
法人税、住民税及び事業税	6,551	6,771
法人税等調整額	△3,538	－
法人税等合計	3,013	6,771
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	452,998	△146,885
四半期純利益又は四半期純損失（△）	452,998	△146,885

（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	646,081	810,428
売上原価	386,130	564,783
売上総利益	259,951	245,644
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	82,832	76,766
返品債権特別勘定引当金繰入額	－	4,586
その他	148,585	175,519
販売費及び一般管理費合計	231,418	256,872
営業利益又は営業損失（△）	28,533	△11,227
営業外収益		
受取利息	1,729	570
受取賃貸料	18,180	116
古紙売却益	－	428
償却債権取立益	－	1,200
貸倒引当金戻入額	－	△2,038
その他	7,549	37
営業外収益合計	27,459	315
営業外費用		
支払利息	18,450	12,853
賃貸費用	14,982	581
為替差損	25,422	△7,386
持分法による投資損失	9,685	－
その他	591	128
営業外費用合計	69,132	6,177
経常損失（△）	△13,140	△17,090
特別利益		
固定資産売却益	196	29
貸倒引当金戻入額	△6,779	－
返品債権特別勘定引当金戻入額	299	－
その他	△270	－
特別利益合計	△6,554	29
特別損失		
固定資産除却損	7,035	－
関係会社株式売却損	21	－
減損損失	4,945	－
和解金	－	10,426
その他	1,190	－
特別損失合計	13,193	10,426
税金等調整前四半期純損失（△）	△32,887	△27,487
法人税、住民税及び事業税	5,516	4,841
法人税等合計	5,516	4,841
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△38,404	△32,328
四半期純損失（△）	△38,404	△32,328

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	452,998	△146,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,686	△15,420
繰延ヘッジ損益	661	－
為替換算調整勘定	28,805	9,237
その他の包括利益合計	42,153	△6,182
四半期包括利益	495,152	△153,067
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	495,152	△153,067

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△38,404	△32,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	8,978
繰延ヘッジ損益	170	－
為替換算調整勘定	16,122	7,760
その他の包括利益合計	16,293	16,738
四半期包括利益	△22,111	△15,589
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,111	△15,589

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	メディア＆マーケティング事業	カードソリューション事業	データセンター事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	660,080	535,301	416,235	1,611,617	－	1,611,617
セグメント間の内部売上高又は振替高	41,750	33,300	－	75,050	△75,050	－
計	701,830	568,601	416,235	1,686,667	△75,050	1,611,617
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△186,164	118,574	109,010	41,420	△160,373	△118,953

（注）１　セグメント利益の調整額△160,373千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

カードソリューション事業において、通信方式の変更によるモバイル決済端末の入れ替えを順次行っており、利用可能性のなくなった旧端末の帳簿価額全額を減損損失として計上しております。なお、当第３四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、4,945千円であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	メディア＆マーケティング事業	カードソリューション事業	データセンター事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,224,994	639,693	389,493	2,254,182	－	2,254,182
セグメント間の内部売上高又は振替高	46,464	33,795	－	80,259	△80,259	－
計	1,271,459	673,488	389,493	2,334,441	△80,259	2,254,182
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△89,759	162,196	73,524	145,961	△154,539	△8,578

（注）１　セグメント利益の調整額△154,539千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

全社資産である売却予定の賃貸資産について減損損失63,867千円を計上しております。

Ⅲ　前第３四半期連結会計期間（自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	メディア＆マーケティング事業	カードソリューション事業	データセンター事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	303,090	204,299	138,691	646,081	－	646,081
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,250	11,100	－	25,350	△25,350	－
計	317,340	215,399	138,691	671,431	△25,350	646,081
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△8,790	53,564	36,457	81,231	△52,697	28,533

（注）１　セグメント利益の調整額△52,697千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

カードソリューション事業において、通信方式の変更によるモバイル決済端末の入れ替えを順次行っており、利用可能性のなくなった旧端末の帳簿価額全額を減損損失として計上しております。なお、当第３四半期連結会計期間における当該減損損失の計上額は、4,945千円であります。

Ⅳ　当第３四半期連結会計期間（自　平成23年10月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	メディア＆マーケティング事業	カードソリューション事業	データセンター事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	490,297	197,994	122,136	810,428	－	810,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,400	11,100	－	25,500	△25,500	－
計	504,697	209,094	122,136	835,928	△25,500	810,428
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△8,101	28,301	16,446	36,646	△47,874	△11,227

（注）１　セグメント利益の調整額△47,874千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第３四半期連結累計期間において四半期純損失146百万円、持分法適用範囲変更に伴う利益剰余金の減少78百万円等を計上した結果、株主資本合計は前連結会計年度末の1,428百万円から1,195百万円に減少いたしました。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。